

# 10月1日のウクライナ情報

安齋育郎

## ●ドンバス 8 年の防衛(2022年9月30日)

※安齋注:必見映像かなあ! 例のポロシェンコ大統領のひどい演説を含めて、ウクライナが戦乱の国になった経緯が分かります。

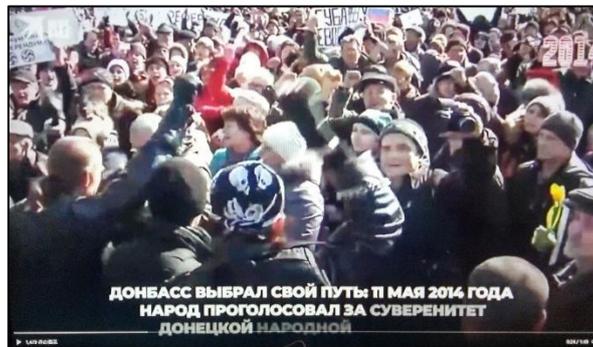
<https://twitter.com/Jano661/status/1575536598397358080?s=20&t=y8ufjeb93Qxkq5H8l02E1Q>



## ●ドンバスは帰ってきた(2022年9月29日)

「ドンバスは 2014 年 5 月独立に向けた投票を行い、その選択をしました。銃で撃たれ経済封鎖で首を絞められても目標に向かって頑張りました。そして事は成った！」 ※日本語字幕なし

[https://twitter.com/morpheus7701/status/1575279370880823296?t=4acerN0w-gxayaFgU6\\_VBg&s=09](https://twitter.com/morpheus7701/status/1575279370880823296?t=4acerN0w-gxayaFgU6_VBg&s=09)



## ●プーチン大統領は大統領令『ヘルソン州、ザポロージャ州の国家承認について』(2022年9月29日)

国際法の普遍的原則と規範に従い、国連憲章が定める人民の権利平等と民族自決の原則を認め尊重し、2022年9月27日に行われた住民投票においてヘルソン州、ザポロジエ州の人々が表明した意思を考慮して、以下の通り決定する。

1. ヘルソン州、ザポロジエ州の国家としての主権と独立を承認する。
2. この大統領令は、その署名の日より効力を有する。

## ●ロシアの当面の予定(2022年9月30日)

まず、憲法裁判所でルハンスク、ドネツク両人民共和国とヘルソンとザポリージャが「ロシア憲法を守る保障」について手続きを行ない、次に下院に当たる「国家会議」で書類審議たうえで、10月4日頃に上院に当たる「連邦評議会」で審議・決定するようです。

29 Sep, 2022 15:29 / Home / Russia D FSU

### Kremlin reveals next step on Donbass, Kherson, and Zaporozhye

Russian President Vladimir Putin will sign accession treaties on Friday, his spokesperson has announced



The Kremlin has revealed when Russian President Vladimir Putin will sign treaties on the inclusion of the two Donbass republics, as well as the self-proclaimed states in Kherson and Zaporozhye, into the Russian Federation. The move follows referendums held in the respective territories.

The ceremonial signing will take place in the St. George Hall inside the Kremlin Palace on Friday at 3pm Moscow time, after which Putin will deliver a "voluminous speech," according to Kremlin spokesperson Dmitry Peskov. The Russian president will also personally meet with the heads of the new territories.

The announcement comes after the two republics and two self-proclaimed states made official requests to join the Russian Federation after having held public referendums on the issue between September 23 and 27. The move was overwhelmingly supported by the local population, according to official results announced late on Tuesday.

Vladimir Putin © Alexei Nikolsky / Russian Presidential Press and Information Office / Handout / Anadolu Agency / Getty Images

## ●駐米ロシア大使の見立て(2022年9月30日)

米国がウクライナ紛争に直接参加していることは今日明らかな事実であり、米国政府はウクライナに対する殺傷兵器の供給を露骨に拡大している。ロシアのアナトリー・アントノフ駐米大使が米誌ナショナル・インタレストに発表した記事の中で表明した。

駐米大使は、次のように指摘した。

「今日、キーウ(キエフ)・レジームの軍事行動に米国が直接的に関与していることは明白な事実である。ミサイルの供与を公然と行っている。キーウに諜報データを提供している。ロシア軍に対する作戦を共同で策案している。ウクライナ人は戦闘技術を NATO の兵器で学んでいる」



## ●米欧、ウクライナに送る武器なくなる?(CNBC、2022年9月28日)

NATO 事務総長のイェンス・ストルテンベルグは、加盟国の武器備蓄を補充する方法を議論するために、同盟の武器管理者の特別会議を開催しました。しかし、防衛生産を強化することは、迅速で簡単なことではありません。

米国は、ロシアとの戦争でウクライナへの軍事援助の最大の供給者であり、2月下旬にモスクワが隣国に侵

攻して以来、これまでに 152 億ドルの武器パッケージを提供しています。

米国の武器産業では、現在ウクライナの戦場で使用されている長距離重火器である 155 ミリ榴弾砲の砲弾の通常の生産レベルは、平時で年間約 30,000 発です。

侵略するロシア軍と戦っているウクライナの兵士は、およそ 2 週間でその量を使い果たします。

これは、米国国防大学の准教授で上級軍事フェローの Dave Des Roches 氏によるものです。そして彼は心配しています。

「とても気になります。立ち上げるのに数か月かかる新しい生産がない限り、ウクライナ人に供給する能力はありません」と Des Roches 氏は CNBC に語った。

ヨーロッパも低迷しています。「ほとんどの[ヨーロッパの NATO]加盟国の軍事備蓄は、使い果たされたとは言えませんが、ウクライナ人に多くの能力を提供してきたため、かなりの割合で枯渇しています」と EU の上級代表である Josep Borrell 氏外交と安全保障政策のために、今月初めに言った。

NATO のイェンス・ストルテンベルグ事務総長は、火曜日に同盟の武器担当官の特別会議を開き、加盟国の武器備蓄を補充する方法について話し合った。

軍事アナリストは根本的な問題を指摘しています。西側諸国は、平時ははるかに少量の武器を生産しており、政府は非常に高価な製造を削減し、必要な場合にのみ武器を生産することを選択しています。不足している武器の一部はもはや生産されておらず、その生産には高度な熟練労働力と経験が必要とされています。これは、米国の製造部門全体で何年にもわたって不足していたものです。

実際、ストルテンベルグは先週の国連総会で、NATO 加盟国は武器部門の産業基盤に再投資する必要があると述べた。

「私たちは現在、武器と弾薬の生産を増やすために産業界と協力しています」とストルテンバーグはニューヨークタイムズに語り、各国はより多くの武器の注文を出すことによって、武器メーカーに長期的な能力を拡大するよう促す必要があると付け加えました。

しかし、防衛生産を強化することは、迅速で簡単な偉業ではありません。

米国の自衛能力は危険にさらされていますか？

短い答え: いいえ。

米国は、ロシアとの戦争でウクライナへの軍事援助の最大の供給者であり、2 月下旬にモスクワが隣国に侵攻して以来、これまでに 152 億ドルの武器パッケージを提供しています。アメリカ製の武器のいくつかは、ウクライナ人にとってゲームチェンジャーでした。特に 155 mm 榴弾砲とロッキード マーチンのような長距離重砲製の HIMARS(高機動砲兵ロケットシステム)。そしてバイデン政権は、ロシアを打ち負かすために「必要な限り」同盟国であるウクライナを支援すると述べた。

つまり、より多くの武器を使用できます。

米国は基本的に、ウクライナに提供する 155 mm 榴弾砲を使い果たしました。これ以上送るには、訓練と準備のためにそれらを使用する米軍ユニットのために予約された独自の在庫に浸る必要があります。しかし、軍事アナリストによると、それは国防総省にとってはあり得ないことであり、米国の作戦のために確保されている物資が影響を受ける可能性は非常に低いことを意味します。

<https://www.cnbc.com/2022/09/28/the-us-and-europe-are-running-out-of-weapons-to-send-to-ukraine.html>



## ●米、ウクライナにハイマース 18 基など 11 億ドル支援 納入には数年(朝日新聞 digital、2022 年 9 月 29 日)

米国防総省は 28 日、ロシアの侵攻を受けるウクライナに約 11 億ドル(約 1600 億円)の追加軍事支援を表明した。高機動ロケット砲システム「HIMARS(ハイマース)」18 基が含まれる。今回の支援は、従来のように米軍の在庫から提供するのではなく、企業から今後調達するため、納入までに数年かかるという。

米軍はこれまでに 16 基のハイマースをウクライナに提供済みで、今回の支援で計 34 基となる。射程が長く、前線から遠く離れたロシア軍の司令部や補給拠点を正確に狙えるため、戦場で大きな成果をあげているとされる。



## ●ショイグ国防相談(2022 年 9 月 21 日)

プーチン大統領が発表した部分的な動員は、第一に、ウクライナでの特別作戦においてすでに解放された領土をコントロールするために必要なものである。ロシアのショイグ国防相がこのように明らかにした。



## ●プーチン、動員のミス修正について指示(2022年9月30日)

プーチン大統領は動員された市民の中には、多くの子どもを扶養している父親や、恒常的な病気を患っている人、動員年齢を過ぎている人などが含まれていると苦言を呈した。その上で、あらゆるケースを個別に検討し、過ちがあった場合は直ちにこれを修正するよう指示した。

[https://twitter.com/matatabi\\_catnip/status/1575687839601172480?t=PSi1xLEOVIUUJ4mU 7T08Q&s=09](https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1575687839601172480?t=PSi1xLEOVIUUJ4mU 7T08Q&s=09)



## ●アメリカン大学のピーター・カズニックの発言(2022年9月29日)

ロシアとの西側集団の戦争なんだから、ウクライナ人は関わらない方がいい、利益のために死ぬな。別の日に出発すればいい。ゼレンスキーは金で雇われた西側の傀儡に過ぎない。彼は腐敗した男だから、ウクライナ人はみんな関わらない方がいい。

<https://twitter.com/syuugoro2/status/1575658763515633664?t=i6LyRZJ3TdWNFCK8dIw&s=09>



※安齋注:ピーター・カズニックさんは立命館と共同したサマー・セミナーでたびたび来日し、このウクライナ情報の読者である山根和代先生や藤岡惇先生ともども学生と広島ツアーなどに行っています。私の知り合いもある歴史学者です。

## ●別の見方:ウクライナもロシアも戦争の標的ではなかった。ヨーロッパこそが標的であり、バイデンはそれを証明している(TFIGlobal、2022年9月29日)

アメリカはマリオネットの糸をウクライナに引っ張り、戦争に押し込んだ。無実で無力なウクライナ人の墓の上で、ワシントンはヨーロッパから何十万ドルも採掘しようとしている

何千という死体の山の上で、アメリカはヨーロッパが従属的になることを望んでいる。そして、それがすでに起こっていると言うことは、それほど遠くないでしょう。

ヨーロッパは、法外な石油、ガス、電力価格のために、脱工業化の危機に瀕している。ヨーロッパは愚か者として行動し、戦争が始まったとき、アメリカのディクタットでノルドストリーム 2 を閉鎖した。報復として、モスクワはノルド・ストリーム 1 パイプライン経由でドイツにガスを送るのを止め、ガス漏れを挙げ、流れがいつ再開するかの時間枠を与えていない。

ロシアのエネルギーに代わるものを見つけられなかったことは、ヨーロッパの首の本当の痛みとなっている。そして、アメリカはヨーロッパの無力さにつけこんできた。エネルギー情報局(EIA)によると、ウクライナ紛争の真っ只中にヨーロッパへの供給を増やしたため、米国は 2022 年上半期に他の LNG 輸出国を追い越した。米国の LNG 輸出の約 71%は、今年最初の 5 ヶ月間に欧州連合と英

国に送られました。それが、米国にとって LNG 市場としてのヨーロッパがどれほど大きくなったかです。ヨーロッパへの膨大な LNG 輸出はドルを強化し、間違いなくユーロに害を及ぼした。ユーロは 20 年ぶりの安値に沈んだ。

ウクライナ戦争の結果、ヨーロッパ経済は翻弄されてしまった。欧州のインフレ率は過去 30~40 年で最高水準に急上昇した。石油とガスの禁輸措置は、ヨーロッパ人の何百万もの雇用を危険にさらしている。ヨーロッパのいくつかの産業は操業を停止し、多くは生産量を削減しました。

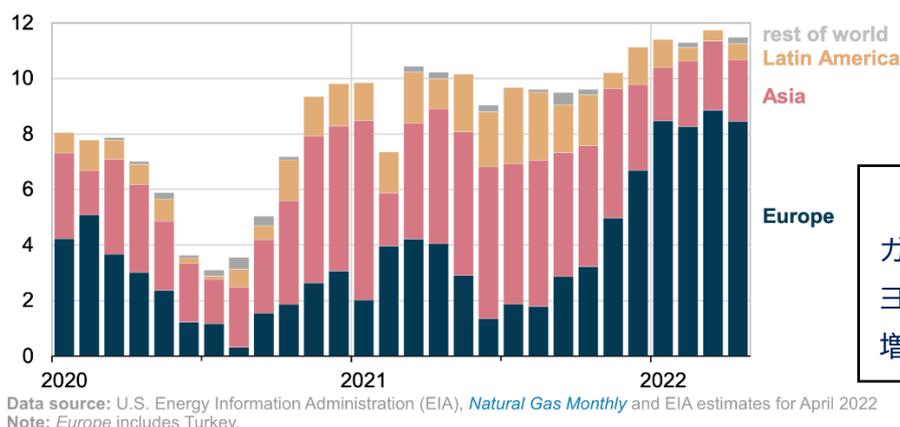
欧州は現在、エネルギーコストの予測不可能な変動と進行中のサプライチェーンの問題によって脅かされています。一部のアナリストは、これがヨーロッパにおける脱工業化の新しい時代の始まりであると強調している。

一方、米国経済は欧州の石油・ガス危機から大きな恩恵を受けています。鉄鋼、肥料、その他の経済的投入資材を生産するヨーロッパの企業は、事業を米国に移しています。ある意味で、これらの企業は、ガス価格の高騰のためにヨーロッパから追い出されている。その一方で、彼らは米国でより安定したエネルギーコストと強力な政府の支援を見つけています。

米国はそれを最大限に活用し、製造業と再生可能エネルギーに対する多数のインセンティブを提示しました。今年、ドイツの自動車メーカーフォルクスワーゲン AG とデンマークのジュエリービジネス Pandora A/S が米国の拡張を発表しました。ウォールストリートジャーナルは先週、テスラ社がバイデン大統領が 8 月に法律に署名したインフレ削減法に基づく税制優遇措置の適格性を調査するまで、ドイツでバッテリーセルを製造する計画を遅らせていると報じた。

ルクセンブルクに本拠を置くアルセロール・ミッタル SA は今月、ドイツの 2 つの工場での生産を削減すると発表した。また、テキサス州での事業への今年の投資が予想以上にうまくいったことも明らかになった。

全体として、欧米諸国は、まず、ロシアを財政的、経済的に危害を加える標的にしたが、失敗した。ロシアのルーブルはここ数十年で最強です。新しい企業が台頭しており、長期的な経済成長につながります。皮肉なことに、ヨーロッパは、ロシアに課した経済制裁の矢面に立たされている国だ。ウクライナ戦争の影響を事前に考慮しておくべきだったし、アメリカのディクタットに従うべきではなかった。バイデンは巧妙にテーブルをひっくり返し、ヨーロッパを永遠に征服し、絶滅させる準備ができています。



## ●ロシアによるウクライナ東部併合の意味(2022年9月28日)

ロシアが進める「ウクライナ東部併合」とは、どのようなものなのか。

ロシアのプーチン大統領は、ウクライナ領の約15%に相当する部分を正式に併合する準備を進めていることを明らかにした。具体的にロシアが併合を進めている地域とは、どのような場所なのか。ま

た西側は、併合を止めることができるのか？併合に関するポイントをまとめた。

<https://twitter.com/ReutersJapan/status/1574964615057854464?t=AZtBWvwSjzLfaMsDHrQTow&s=09>



### ●ハンガリーのオルバン首相の EU への要求(2022 年 9 月 29 日)

ハンガリーのオルバン首相は、「ブリュッセル(EU)はエネルギーコストを上昇させた。EU 諸国に制裁を課している」と述べた。ハンガリー政府は制裁に関する協議を開始し国民に意見を求めている。これに先立ち EU に対し、ロシアに対する制限的措置というテーマで「手遅れになる前に米国と率直な話し合いを持つよう」要請した。

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1575280160253022208?t=5xGgab0bwlJ0jXG9tF4H7Q&s=09>



### ●バイデン「NATO を拡大するというのはウソです」というウソ(投稿:2022 年 9 月 29 日)

バイデン米大統領の 2022 年 3 月の発言:「NATO を拡大するというのは事実ではありません。これはロシアが流した嘘なんです」。 ※安齋注:良くこういう見え透いた嘘がつけるもんだ。

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1575276727861145605?t=zwbwJW9l3WzulSlyun7eXg&s=09>



### ●コンドリーザ・ライス元米国務長官:「北米のエネルギーに依存させればいい」

## (2014 年)

アメリカの対ロ戦略は2014年にはもう始まっていました。

[https://www.youtube.com/watch?v=4\\_86xp67u-4](https://www.youtube.com/watch?v=4_86xp67u-4)



## ●ニューランドのノルドストリームについての発言(投稿:2022 年 9 月 29 日)

2022 年 1 月 27 日、ニューランド国務副長官は国務省のブリーフィングで、「率直に申し上げるがロシアがウクライナに侵攻すれば米国はいずれにしてもノルドストリーム 2 は機能させなくする」と述べている。ニューランドは EU などどうでも良いのです。 ※注:彼女の両親はユダヤ系ウクライナ人です。

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1575277541551927297?t=wzecSY9exXonlia7IRVjw&s=09>



## ●ノルドストリーム爆破へのドイツ人による投票(2022 年 9 月 29 日)

誰がパイプラインを爆破したのか？そしてなんとドイツでは 94%の人が「爆破したのはアメリカ人だ」と答えている。「爆破は、天然ガスの買い手へのテロ行為でもある。依存度が高ければ、死活問題であり、ドイツ経済に頼る EU と世界経済への間接的なテロだ」とする見解もある。

[https://twitter.com/morpheus7701/status/1575278710122745856?t=DxxHV-3vePmNwxKy\\_a6MIg&s=09](https://twitter.com/morpheus7701/status/1575278710122745856?t=DxxHV-3vePmNwxKy_a6MIg&s=09)



## ●プラハの街頭のデモ(2022年9月28日)

何千人もの人々がチェコ共和国の首都のプラハの街頭に立っています。当局に対してロシアのガス輸入に同意するよう要求し、反ロシア制裁に反対しペトル・フィアラ首相率いる現政権の退陣を求める声も上がりました。

<https://twitter.com/morpheus7701/status/1575135627993001984?t=CY8Q8PGYbtO7kgeqB43Wrg&s=09>



## ●タイで予定されている APEC 首脳会議(2022年9月29日)

2022年のAPEC議長国を務めるタイでは11月18日~19日にAPEC加盟国による首脳会議が開催される。バイデン米大統領は家庭の事情で欠席すると報じられている中、ロシアを含むAPECの全加盟国(APECは19カ国と2つの地域から構成されている)が例外なく招待されている。タイはこれが我々の立場だと述べている。



## ●BRICSの動き(2022年9月29日)

ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ(BRICS)は「単一通貨創設の可能性と見通しについて議論している」とロシアのパヴェル・クニャゼフ大使が9月29日 BRICS と上海組織協力の拡大展望に関する専門家討議での発言。現在更に約15カ国がBRICSへの参加に関心を示している

